

国際会議ICCBEIへの参画

建設情報に係る国際交流・国際貢献
事業に関するプロジェクトチーム

チームリーダー 海津優

ICCBEI(土木建築情報学国際会議)発足の経緯

2006

2012

ICCCBE(西暦偶数年に開催)



欧米などでは奇数年に地域の会議がある

目的を達して発展的に解消

ICCCBEの傘下で奇数年に開く国際会議をアジアに作ろう!

アジア建設IT円卓会議



アジアに建設ITの定例的会議がない!

ICCBEI 西暦奇数年にアジアで開催する世界に開かれた国際会議

JACICは引き続き関与してね



JACIC理事長はAGCEIの理事に

運営組織
AGCEI

AGCEIの組織、運営

- 事務局は日本に置く(大阪大学矢吹研究室)。
- 正会員(個人会員)の他に特別会員制度を設け、法人としてのJACICを特別会員とする。
- 理事会メンバーは第8回円卓会議メンバー(JACIC理事長を含む)とする
- 理事長は矢吹信喜教授とする

第1回大会 (ICCBEI 2013 Tokyo)

- 11月7、8両日、東京都江東区青海の東京国際交流館プラザ平成にて開催された
- 査読を通った69編の論文が発表された
- 開会式後佐藤国土交通相顧問の基調講演
- 続いて共通セッションとしてJACICセッションを開催
- 基調講演とJACICセッションの参加者は255名
- その後の並行セッションには内外から110名

開会式



佐藤顧問基調講演

社会インフラ管理の展望
～CIMのすすめ～



JACICセッション

日本におけるCIMの動向と国際協調
によるプロダクトモデルの構築



255名が参加
フロアからの質疑も含めて
活発で熱心な討論が行われた

パネリスト

氏名	所属・役職等
矢吹信喜	(座長)大阪大学大学院教授
高村裕平	国土交通省技術調査課室長
坪香 伸	JACIC 理事
山下純一	日本IAI代表理事
謝 尚賢	国立台湾大学副学長、AGCEIメンバー
F. カスタ	仏国イーゼス社部長 BuildingSMART OpenINFRA の委員長

議論のポイント

- 国交省の当面の取り組み
- フロントローディングの重要性
- ヨーロッパにおけるインフラ整備へのBIM応用
- 国際標準と国内の事情を調整することの重要性
- 日本政府の取り組みは思ったより早く進んでいる

質疑

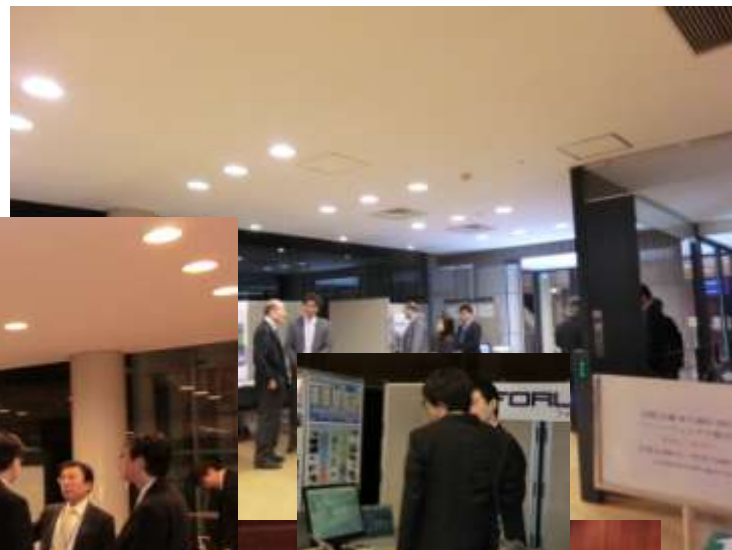
- 現場においてはうまくいかないこともあるが対策はあるか？
- 一部でも情報共有が出来れば良い⇒そのために「ビュー（見方）」の概念を詰める必要
- 最後に将来国土交通省はCIMをどうするのかとの質問に、国交省高村室長が、「先生方の活動に期待しながら考えていきたい」と述べられた

JACICからの発表

- JACICからは以下の6編の論文が発表された

氏名	論文題名
有木久和	CALS/ECにおける維持管理という長く重要なプロセス
海津 優	家庭用デジタルカメラを用いたDSMの取得 (PHOTOG-CAD)
河内 康	日本の公共工事における電子入札の歴史的考察
宮本勝則	ビッグデータと三次元モデル環境についての考察
石渡啓晋	電子入札コアシステムの暗号アルゴリズム更新
小林 亘※	コリテク登録工事名から道路完成時期を予見する手法

会場スナップ



閉会式

次回は2015年5月に東京で開催の予定



最優秀論文賞の授与

成功裏に終わったICCBEIがこれからも発展してゆけるよう
JACICも職員のJACICセッションや積極的参加などを通じて
サポートしたいと思います

ご清聴ありがとうございました。